

子どもたちの健やかな心を育むために

被災地熊本から福島県へ紙芝居セットを寄贈

10月28日(金) 大熊町大野小学校にて寄贈式 挙行

総合健康関連企業の株式会社えがお(熊本市東区東町4-10-1/
代表取締役社長 北野忠男)は、社会貢献事業の一環として、
福島県へ紙芝居100冊を寄贈いたしました。

子どもの読書活動を推進し、健やかな心を育むサポートを行う
ために昨年より熊本県内の小学校を対象に活動を開始。今年度
は熊本地震により被災した県内の小学校10校に加え、東日本
大震災から6年目となる福島県の小学校へも寄贈いたしました。



寄贈式の様子

10月28日には、福島県内の寄贈先を代表し、大熊町大野小学校にて寄贈式を実施しました。式典では寄贈者を代表し(株)えがお 広報課長の稲葉俊介より「物語は心を健康にします。たくさん本を読み、たくさん友達と遊び、心と身体をすくすく育ててください」と挨拶。続いて紙芝居を児童へ贈呈し、児童代表の熊町小学校6年の田村真榛たむらまなさんからは「読書率No.1の県を目指し、今回の感謝の気持ちを忘れずに大切にに使わせていただきます」と御礼の言葉をいただきました。

弊社は震災を経験した企業として、今後も被災地の復旧復興のために尽力いたします。
被災地の一日も早い復興と皆さまのご健康を心よりお祈り申し上げます。



<株式会社 えがお 紙芝居寄贈 概要>

- 寄贈品：紙芝居舞台、紙芝居のお話 10 話分×10 セット(計 舞台 10 台、お話 100 冊)
- 寄贈先：福島県内教育委員会 10ヶ所
(南相馬市、飯舘村、浪江町、葛尾村、双葉町、
大熊町、富岡町、川内村、楡葉町、広野町)
- お届け時期：10月31日以降順次発送



寄贈する舞台とお話

<寄贈式 概要>

- 日 時：10月28日(金) 13:05~13:25
- 場 所：大野小学校 (〒969-3411 福島県会津若松市河東町大田原字村中 186)
- 出席者：株式会社えがお 広報課長 稲葉俊介
熊町小学校 校長 堀本晋一郎氏／教頭 伊達明美氏
大野小学校 校長 加村育夫氏／教頭 吉田清宏氏
大熊町教育委員会 指導主事 鈴木恵一氏
大野小学校、熊町小学校 児童 36 名
- 式次第：校長先生のご挨拶、寄贈者の挨拶、品物の贈呈、御礼の言葉

<紙芝居セット寄贈実績>

2016年 熊本地震の被害の大きかった益城町、南阿蘇村、西原村地区の小学校 10校



2015年 熊本市内の本社周辺の小学校 10校

